

長崎県内の胃がん検診の実績と 精度管理について

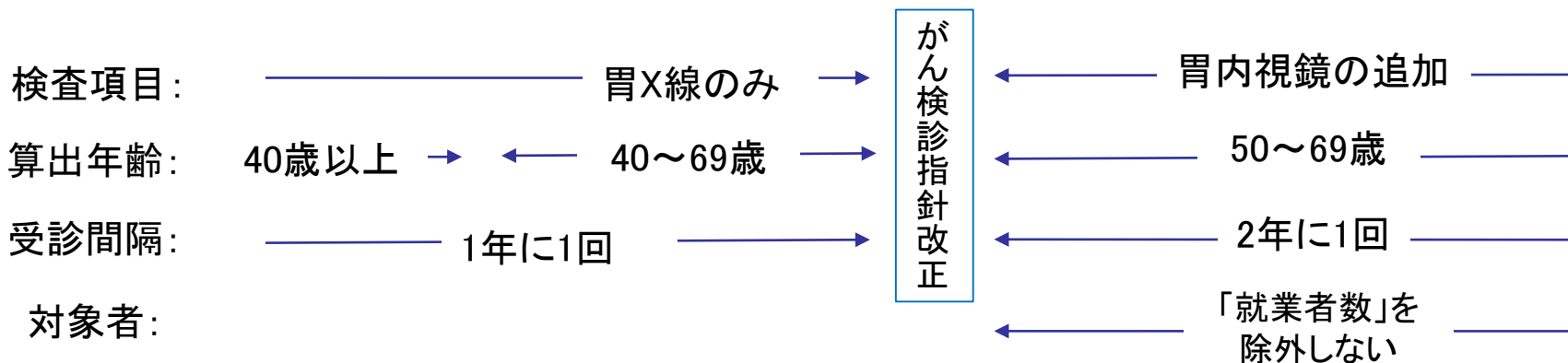
〔 地域保健・健康増進事業報告(厚労省)
2022.03 公表値より 〕

2022.11.1
長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会胃がん委員会

▶ 1.胃がん検診受診率の状況

▶ 地域保健・健康増進事業報告(厚労省)公表値によると、令和2年度(長崎県)は **9.6 %**で、**全国平均7.0 %を上回り、全国14位。**

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国	9.2	9.0	9.6	9.3	6.3	8.6	8.4	8.1	7.8	7.0
長崎	10.3	10.3	10.5	10.2	7.9	12.3	13.4	10.4	10.3	9.6



※検査項目、算出年齢、受診間隔、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※公表値には不詳なデータがある長崎市(H28、H29)と島原市(H29)が含まれていない。

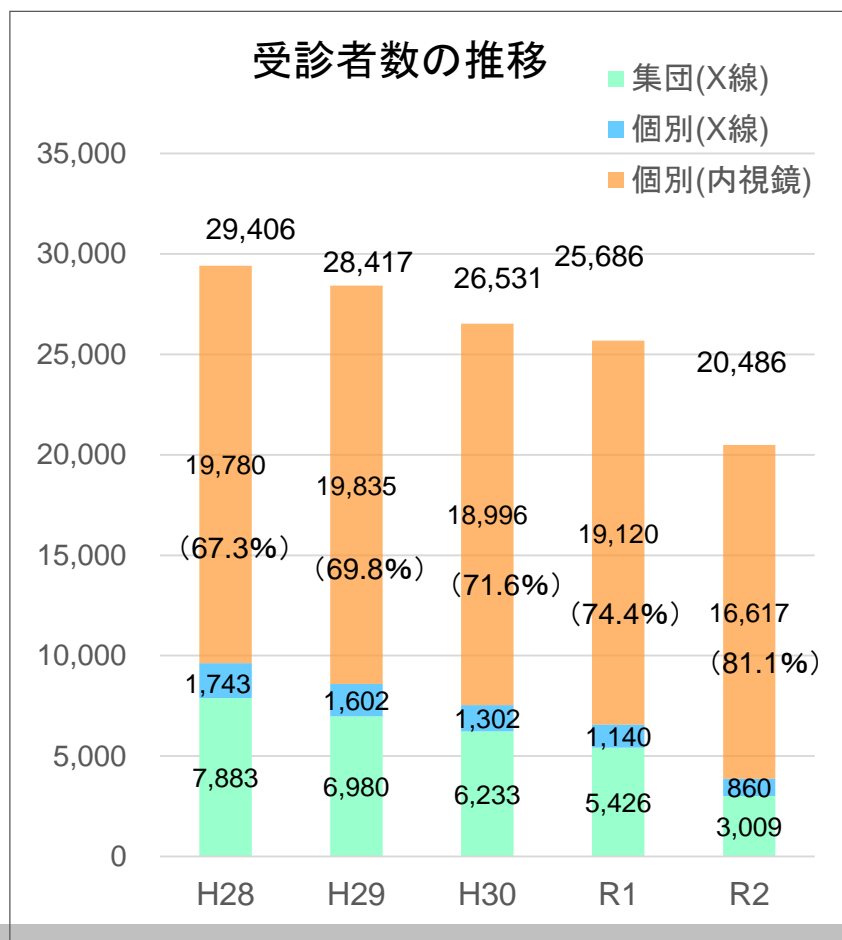
※H29以降で比較すると、全国・長崎ともに年々低下している。特にR2は新型コロナウイルス感染拡大の影響があると思われる。

2. 胃がん検診受診者数と受診率(検査項目別)

1) 受診者数の推移

受診者数は、X線では集団検診、個別検診ともに大きく減少している。内視鏡(個別)はR1年度は増加しているが、全体としては減少傾向となっている。

内視鏡(個別)の全体に占める割合は年々大きくなっており、R2年度では全体の8割以上が内視鏡を選択している。



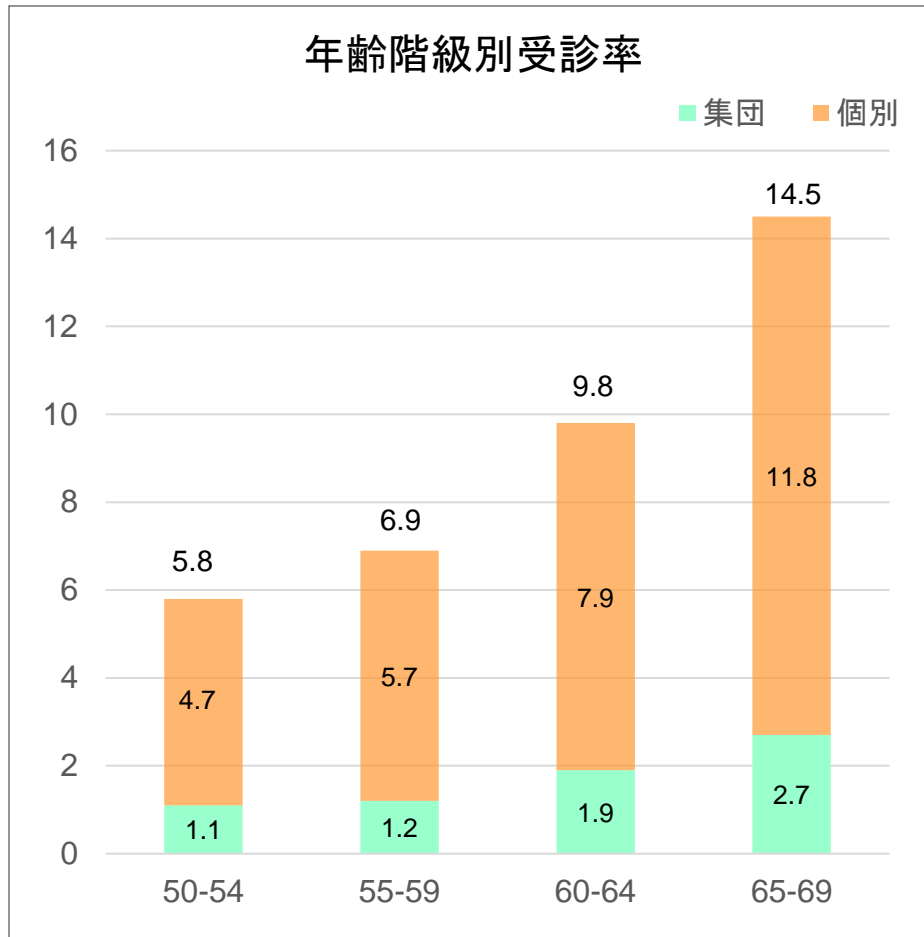
(50-69歳)	H28	H29	H30	R1	R2
集団(X線)	7,883	6,980	6,233	5,426	3,009
個別(X線)	1,743	1,602	1,302	1,140	860
個別(内視鏡)	19,780	19,835	18,996	19,120	16,617
合計	29,406	28,417	26,531	25,686	20,486

【参考】

(全年齢)	H28	H29	H30	R1	R2
集団(X線)	14,330	12,036	11,003	10,082	5,659
個別(X線)	3,469	2,695	2,272	2,075	1,489
個別(内視鏡)	35,834	37,309	36,929	39,330	35,391
合計	53,633	52,040	50,204	51,487	42,543

2)令和2年度年齢階級別受診率

▶ 受診率は、年齢階級が高くなるにつれ、集団検診、個別検診ともに高くなっている。



年齢階級	区分	対象者数	受診者数		受診率
			胃X線	胃内視鏡	
50-54	集団	82,867	440	-	1.1
	個別		100	2,258	4.7
	計		540	2,414	5.8
55-59	集団	85,560	447	-	1.2
	個別		151	2,834	5.7
	計		598	2,834	6.9
60-64	集団	92,699	744	-	1.9
	個別		259	4,224	7.9
	計		1,003	4,224	9.8
65-69	集団	106,313	1,378	-	2.7
	個別		350	7,301	11.8
	計		1,728	7,301	14.5

3.令和1年度胃がん検診成績(50~69歳)

1)令和1年度胃がん検診成績

【X線および内視鏡】

		精 検 受 診									精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G
		受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん疑い及び未確定 J	がん以外の疾患 K				
集団	X線	5,425	247	4.6	226	91.5	11	4.5	10	4.0	31	2	2	1	2	191	0.81	0.04	100.0	50.0
	内視鏡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	集団計	5,425	247	4.6	226	91.5	11	4.5	10	4.0	31	2	2	1	2	191	0.81	0.04	100.0	50.0
個別	X線	1,139	99	8.7	72	72.7	6	6.1	21	21.2	11	0	0	0	0	61	0.00	0.00	0.0	0.0
	内視鏡	19,121	764	4.0	699	91.5	24	3.1	41	5.4	161	43	28	13	12	483	5.63	0.22	65.1	30.2
	個別計	20,260	863	4.3	771	89.3	30	3.5	62	7.2	172	43	28	13	12	544	4.98	0.21	65.1	30.2
合計	X線	6,564	346	5.3	298	86.1	17	4.9	31	9.0	42	2	2	1	2	252	0.58	0.03	100.0	50.0
	内視鏡	19,121	764	4.0	699	91.5	24	3.1	41	5.4	161	43	28	13	12	483	5.63	0.22	65.1	30.2
	総計	25,685	1,110	4.3	997	89.8	41	3.7	72	6.5	203	45	30	14	14	735	4.05	0.18	66.7	31.1

【参考】

70歳以上	X線	5,596	306	5.5	278	90.8	8	2.6	20	6.5	39	6	1	1	2	231	1.96	0.11	16.7	16.7
	内視鏡	20,212	978	4.8	931	95.2	19	1.9	28	2.9	206	87	52	33	13	625	8.90	0.43	59.8	37.9
	総計	25,808	1,284	5.0	1,209	94.2	27	2.1	48	3.7	245	93	53	34	15	856	7.24	0.36	57.0	36.6

2)令和1年度胃がん検診成績(初回受診者の成績) (再掲)

【X線および内視鏡】

		精 検 受 診			精 検 結 果 別 人 数											陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G	
		受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん疑い及び 未確定 J					がん以外の疾患 K
集団	X線	1,341	88	6.6	81	92.0	3	3.4	4	4.5	8	1	1	0	1	71	1.14	0.07	100.0	0.0
	内視鏡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	集団計	1,341	88	6.6	81	92.0	3	3.4	4	4.5	8	1	1	0	1	71	1.14	0.07	100.0	0.0
個別	X線	329	30	9.1	21	70.0	3	10.0	6	20.0	4	0	0	0	0	17	0.00	0.00	0.0	0.0
	内視鏡	6,103	347	5.7	316	91.1	11	3.2	20	5.8	57	28	17	8	3	228	8.07	0.46	60.7	28.6
	個別計	6,432	377	5.9	337	89.4	14	3.7	26	6.9	61	28	17	8	3	245	7.43	0.44	60.7	28.6
合計	X線	1,670	118	7.1	102	86.4	6	5.1	10	8.5	12	1	1	0	1	88	0.85	0.06	100.0	0.0
	内視鏡	6,103	347	5.7	316	91.1	11	3.2	20	5.8	57	28	17	8	3	228	8.07	0.46	60.7	28.6
	総計	7,773	465	6.0	418	89.9	17	3.7	30	6.5	69	29	18	8	4	316	6.24	0.37	62.1	27.6

【参考】

70歳以上	X線	871	76	8.7	67	88.2	2	2.6	7	9.2	7	2	1	1	1	57	2.63	0.23	50.0	50.0
	内視鏡	4,139	286	6.9	272	95.1	4	1.4	10	3.5	48	47	25	15	3	174	16.43	1.14	53.2	31.9
	総計	5,010	362	7.2	339	93.6	6	1.7	17	4.7	55	49	26	16	4	231	13.54	0.98	53.1	32.7

3)令和1年度胃がん検診成績(年齢階級別)

【X線および内視鏡】

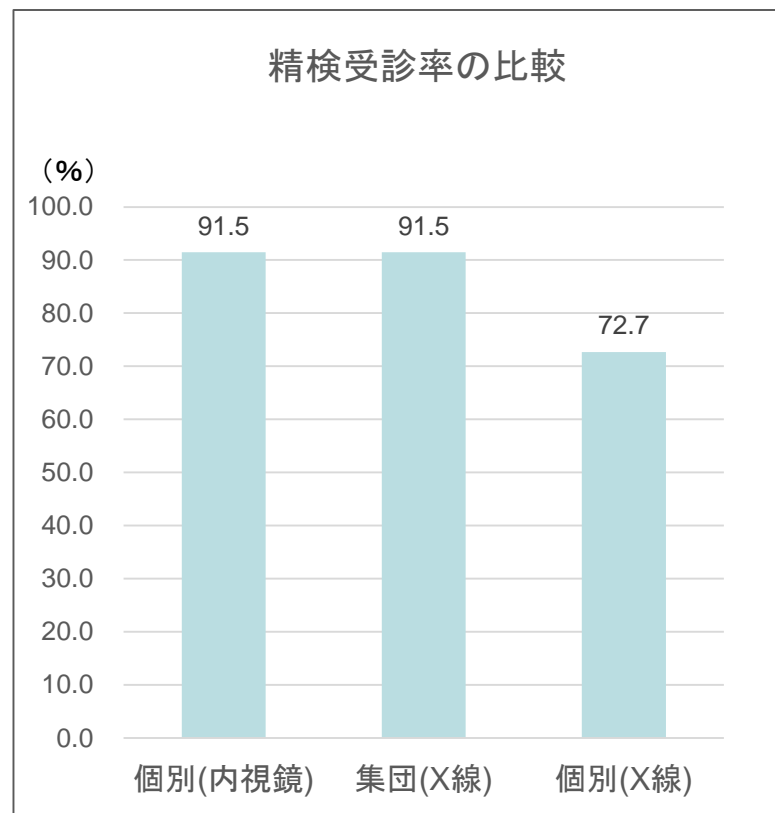
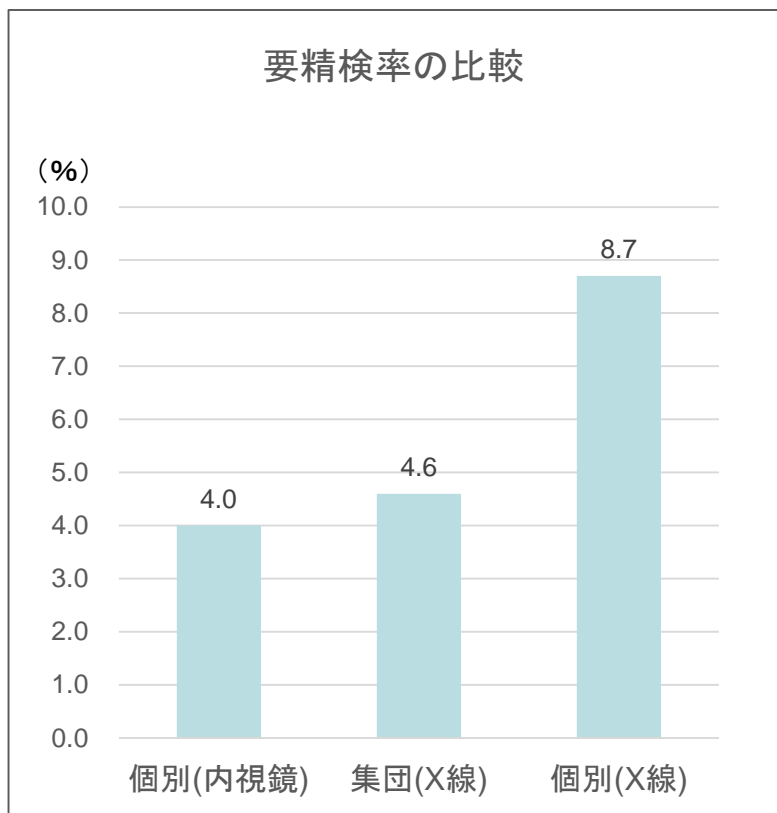
年齢階級	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診						精検結果別人数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G
				あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん疑い及び 未確定 J	がん以外の疾患 K				
50-54	3,234	87	2.7	77	88.5	3	3.4	7	8.0	10	5	4	2	…	62	5.75	0.15	80.0	40.0
55-59	4,194	171	4.1	156	91.2	8	4.7	7	4.1	34	2	2	…	2	118	1.17	0.05	100.0	0.0
60-64	6,557	294	4.5	265	90.1	7	2.4	22	7.5	62	11	6	1	6	186	3.74	0.17	54.5	9.1
65-69	11,700	558	4.8	499	89.4	23	4.1	36	6.5	97	27	18	11	6	369	4.84	0.23	66.7	40.7
合計	25,685	1,110	4.3	997	89.8	41	3.7	72	6.5	203	45	30	14	14	735	4.05	0.18	66.7	31.1

【参考】

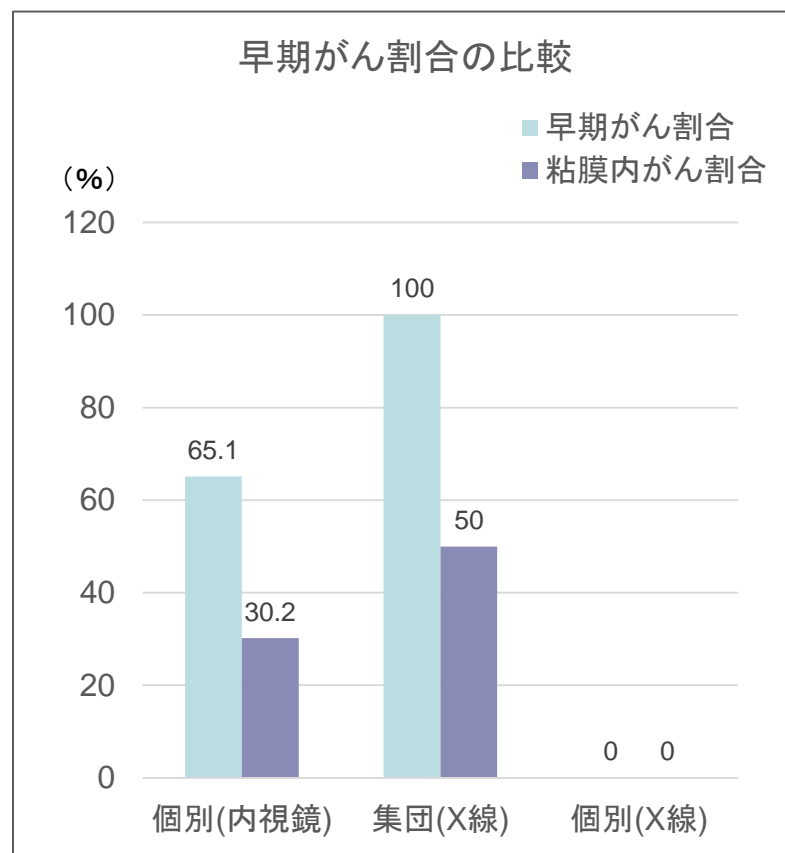
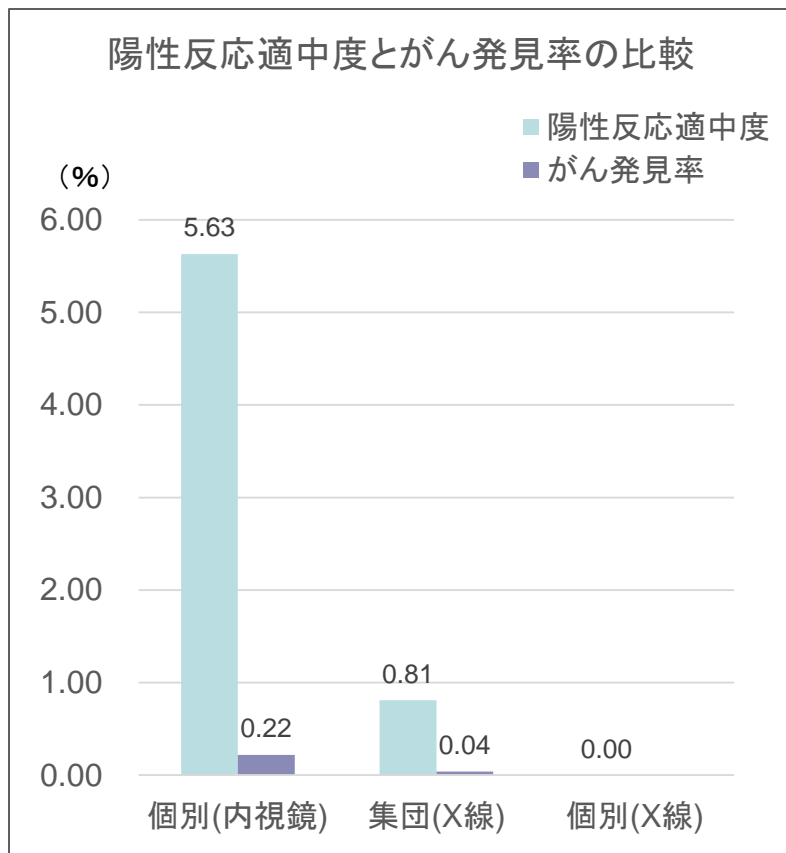
70歳以上	25,808	1,284	5.0	1,209	94.2	27	2.1	48	3.7	245	93	53	34	15	856	7.24	0.36	57.0	36.6
-------	--------	-------	-----	-------	------	----	-----	----	-----	-----	----	----	----	----	-----	------	------	------	------

4)プロセス指標の検診項目別の比較

- ▶ 要精検率は、個別(内視鏡)、集団(X線)、個別(X線)の順に高くなった。精検受診率は、個別(内視鏡)・集団(X線)は高く、個別(X線)は低かった。

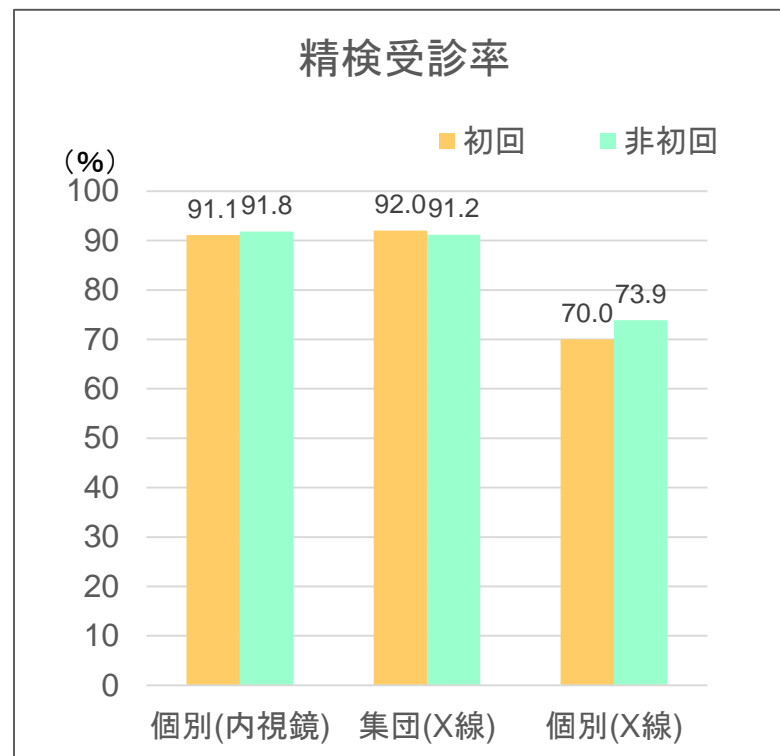
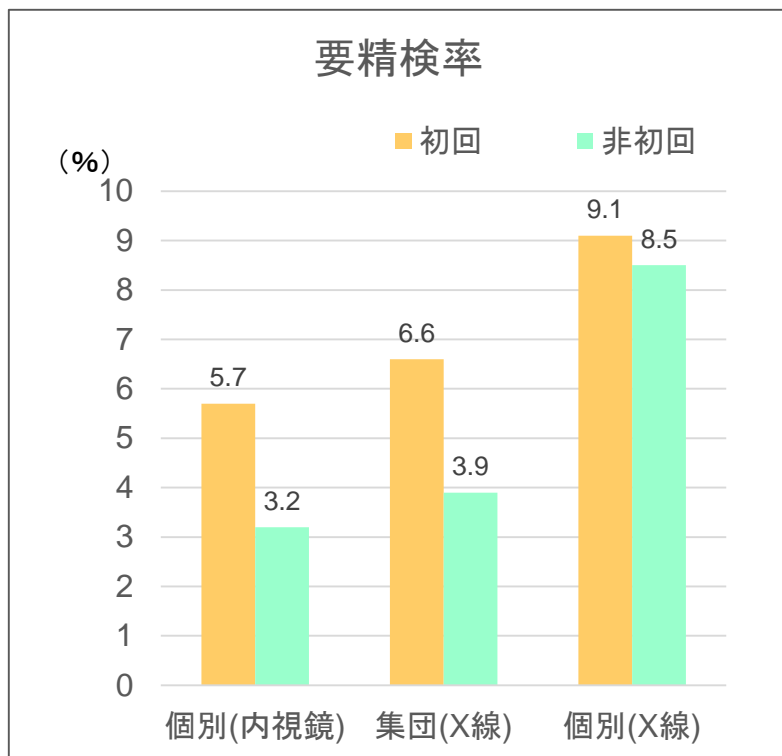


▶ 陽性反応適中度・がん発見率は、個別(内視鏡)が高かった。

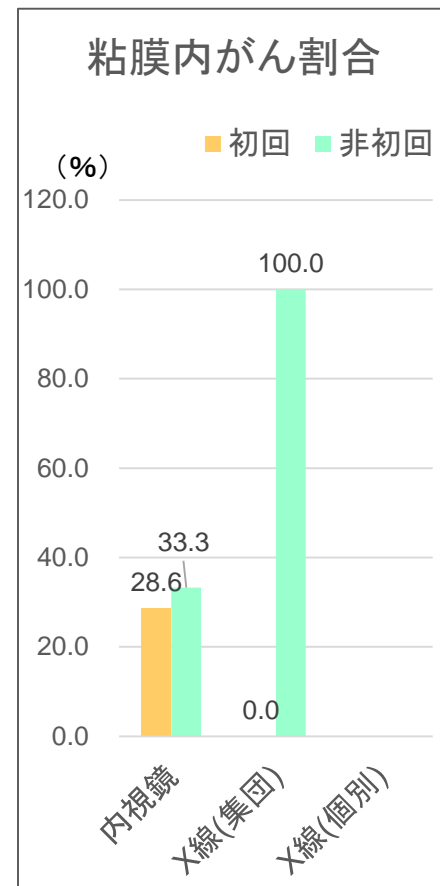
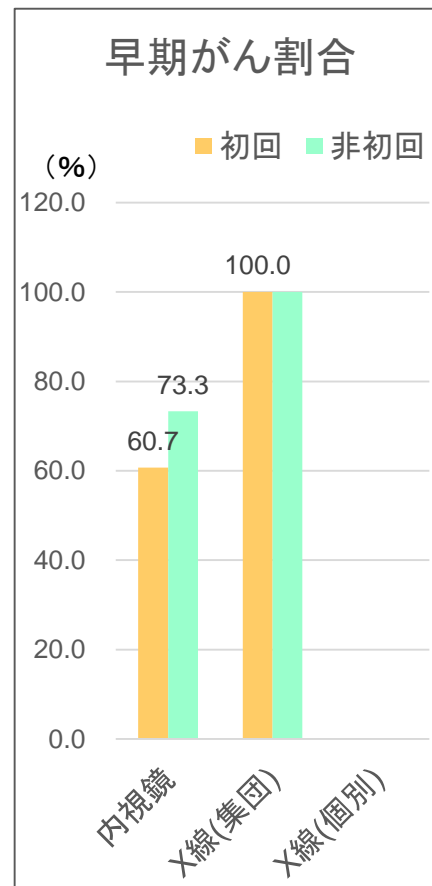
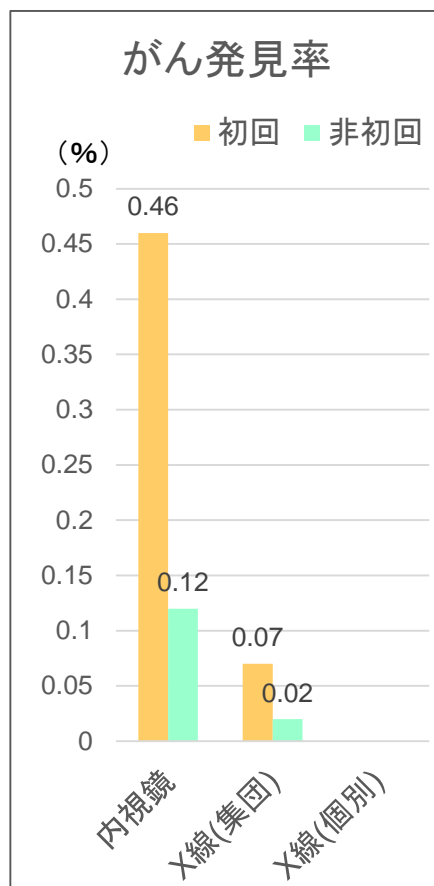
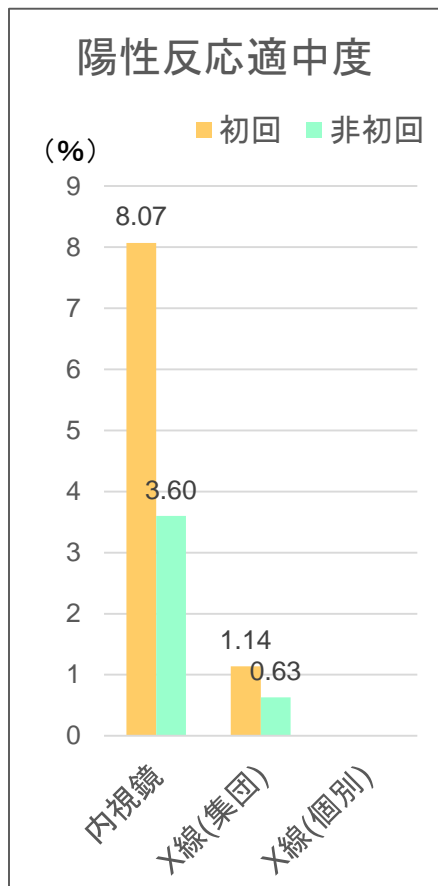


5)プロセス指標の受診歴別の比較

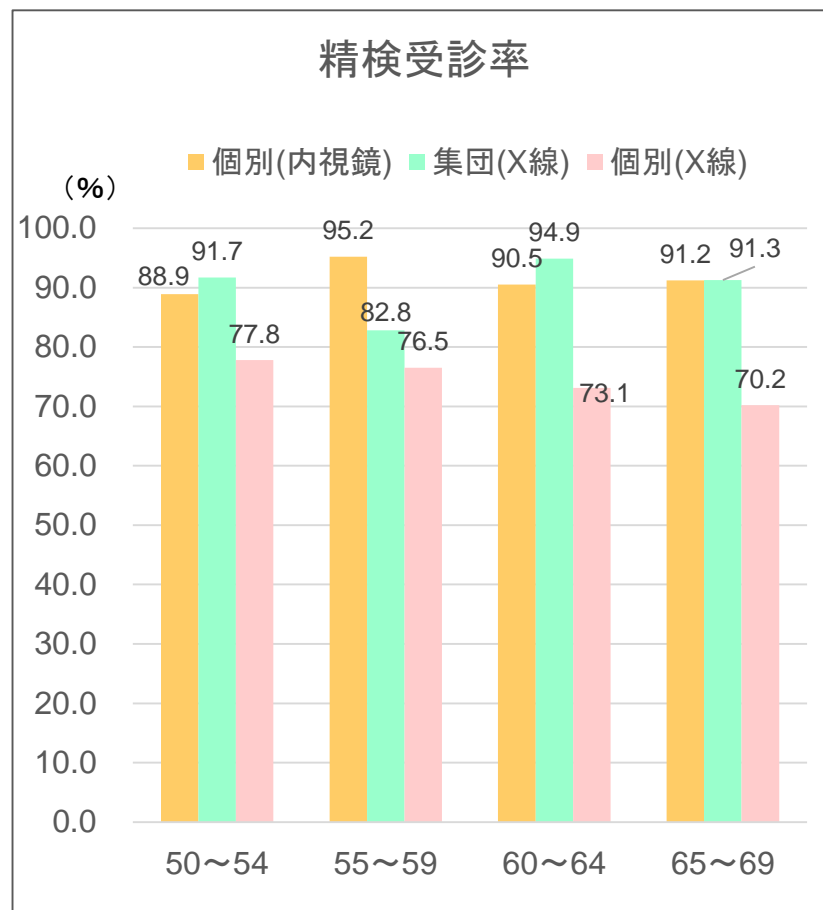
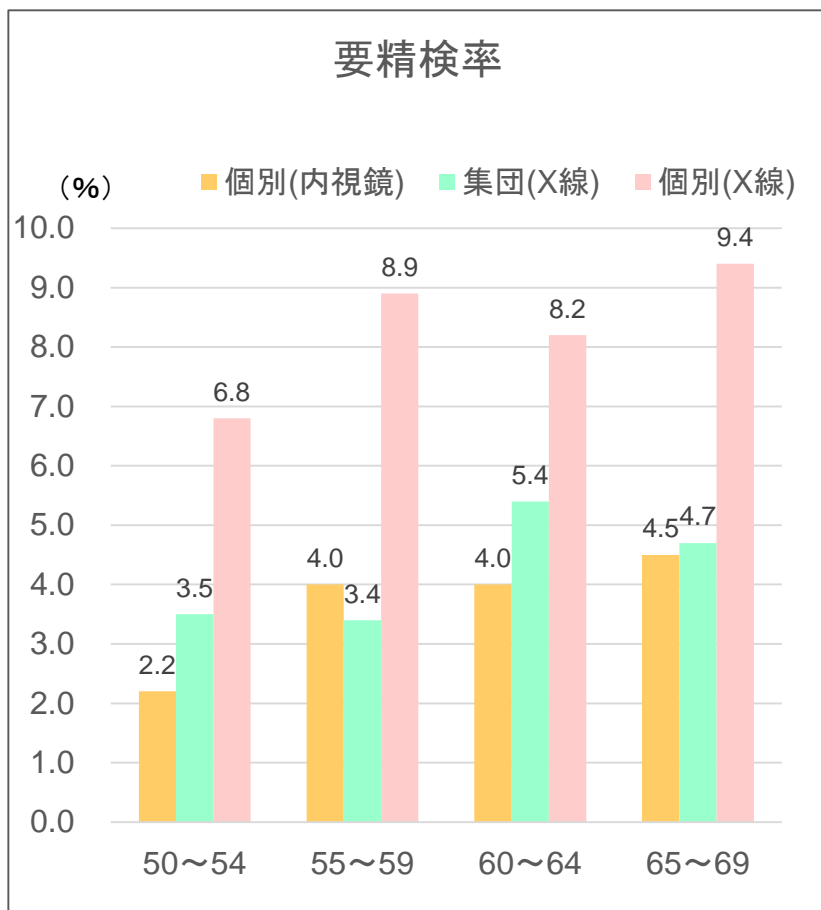
- ▶ 要精検率は、内視鏡、X線ともに非初回より初回が高かった。精検受診率に大きな差はみられなかった。



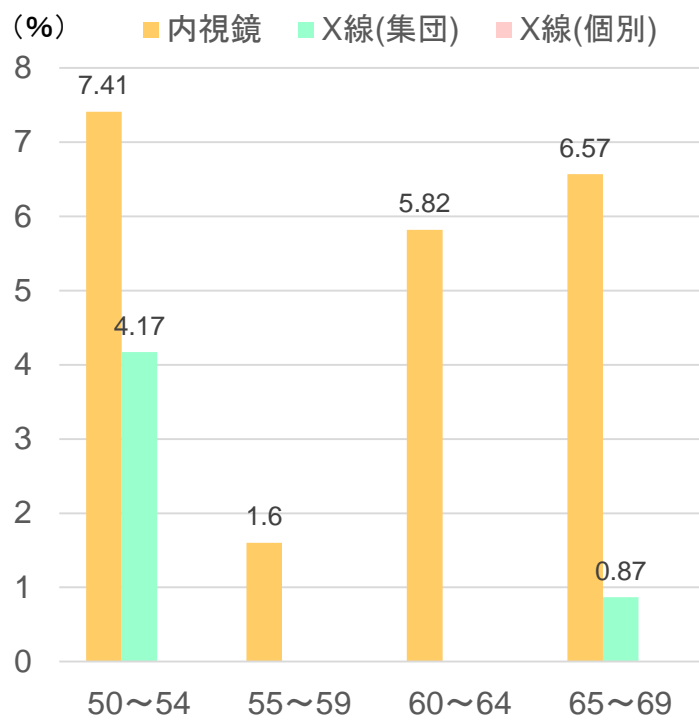
▶ 陽性反応適中度・がん発見率は内視鏡、X線ともに初回が高かった。



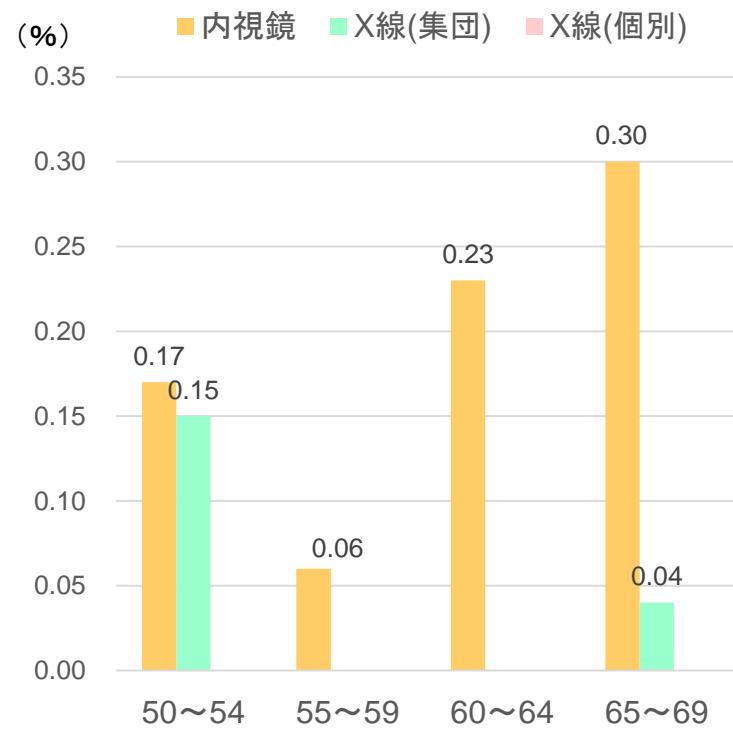
6) プロセス指標の年齢階級別の比較



陽性反応適中度



がん発見率



4.国の示す許容値及び目標値

各がん検診に関する事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値(案)

		乳がん	子宮頸がん	大腸がん	胃がん	肺がん
精検 受診率	許容値	80%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
要精検率(許容値)		11.0%以下	1.4%以下	7.0%以下	11.0%以下	3.0%以下
がん発見率(許容値)		0.23%以上	0.05%以上	0.13%以上	0.11%以上	0.03%以上
陽性反応適中度(許容値)		2.5%以上	4.0%以上	1.9%以上	1.0%以上	1.3%以上

胃X線の指標

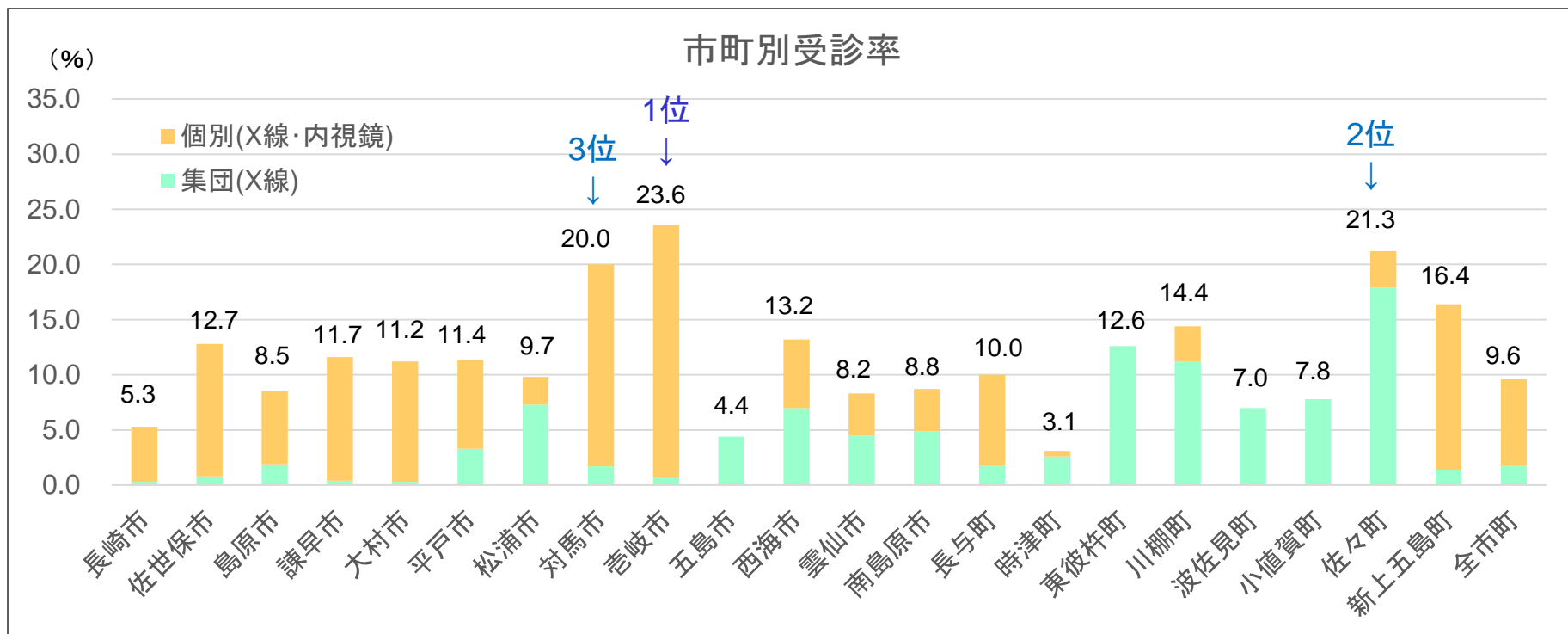
- これらの事業評価指標は、H20年に示され、現在見直し検討中
(国立がん研究センター)

5.精度管理(プロセス指標)の意味と解釈

1)令和 1年度市町別受診率

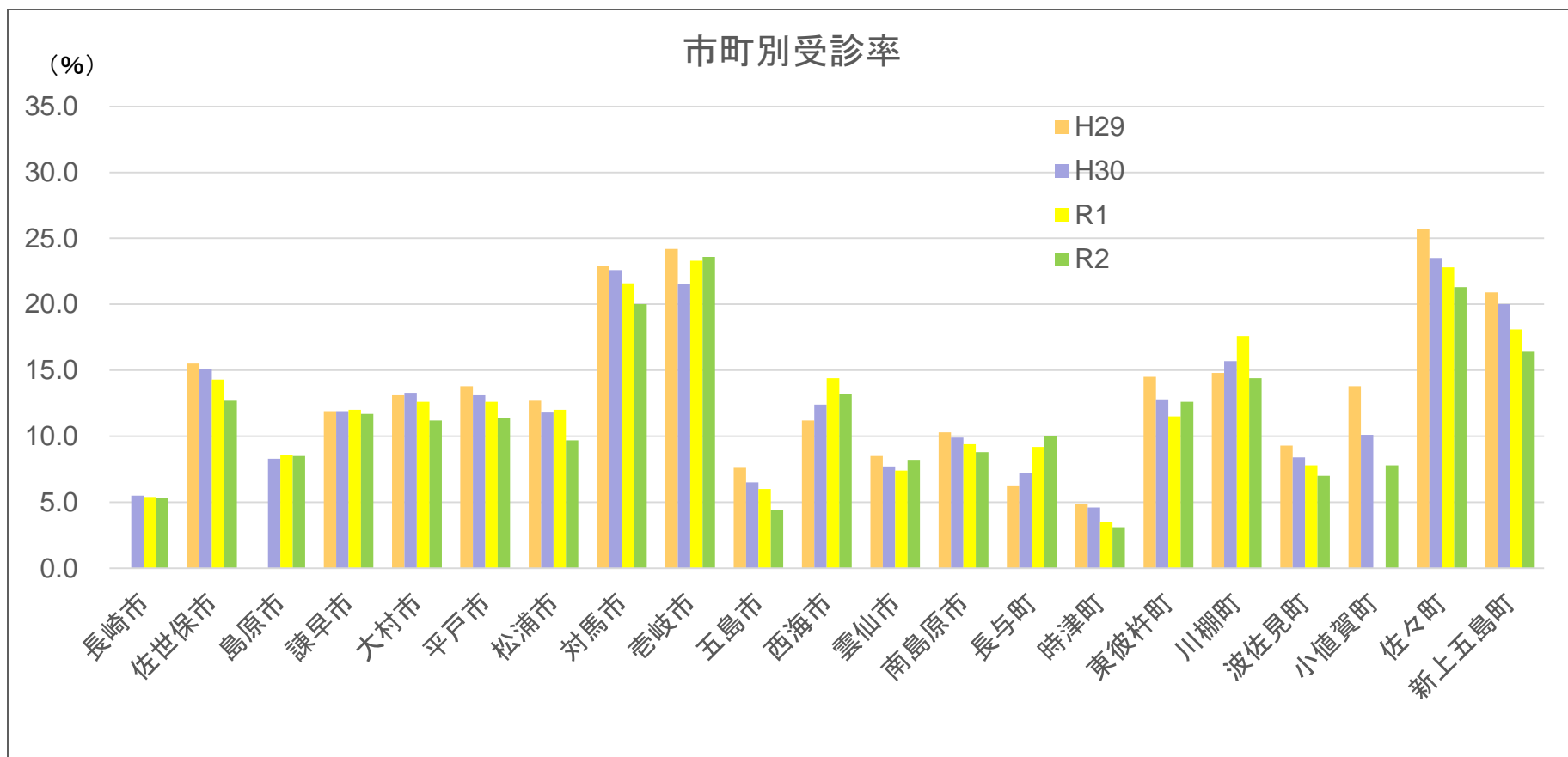
- ・受診者数／対象者数
- ・目的:がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。受診率は高いことが望ましい。
- ・目標値:50%以上(第3期がん計画)
- ・許容値:設定なし

- 低い場合
- ・考えられる原因
受診勧奨が不十分
市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。
職域における受診者数は含まれていないことから、単純に比較することはできない。



2) 年度別市町別受診率

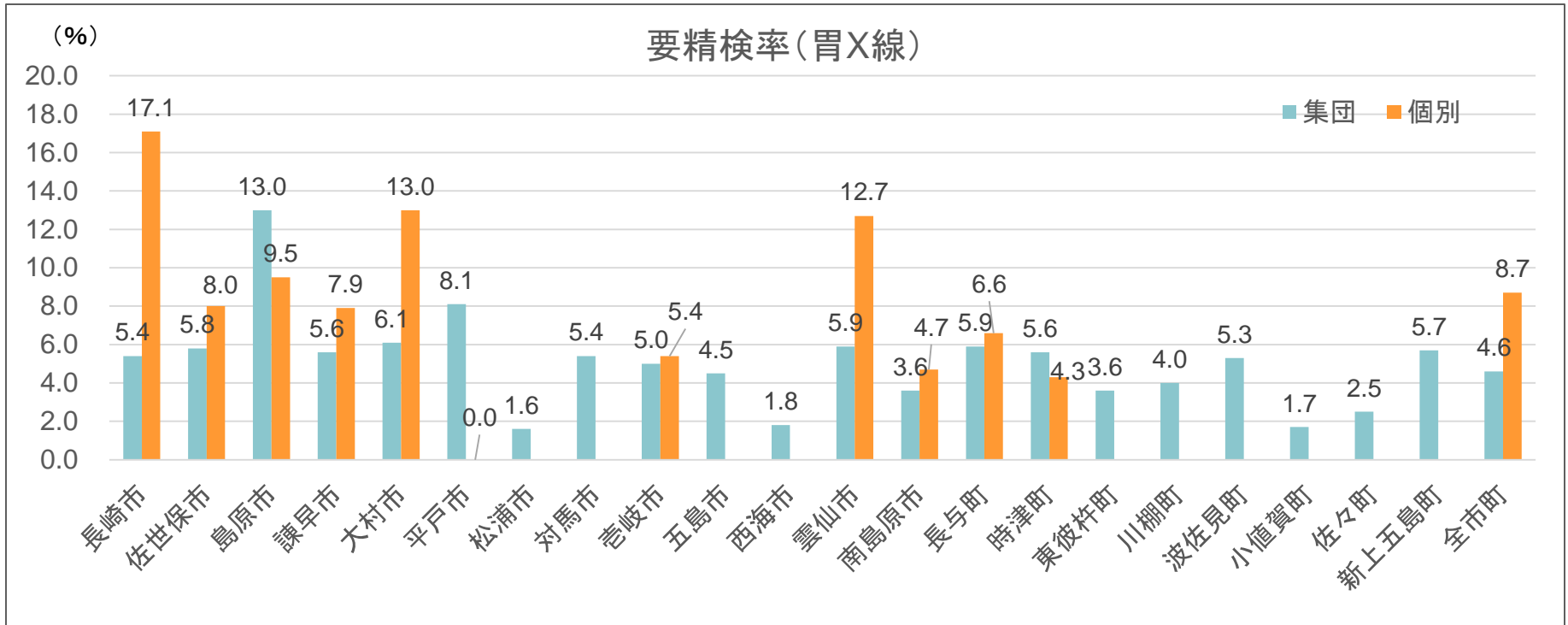
●多くの市町で大きく低下している。長与町は年々増加している。



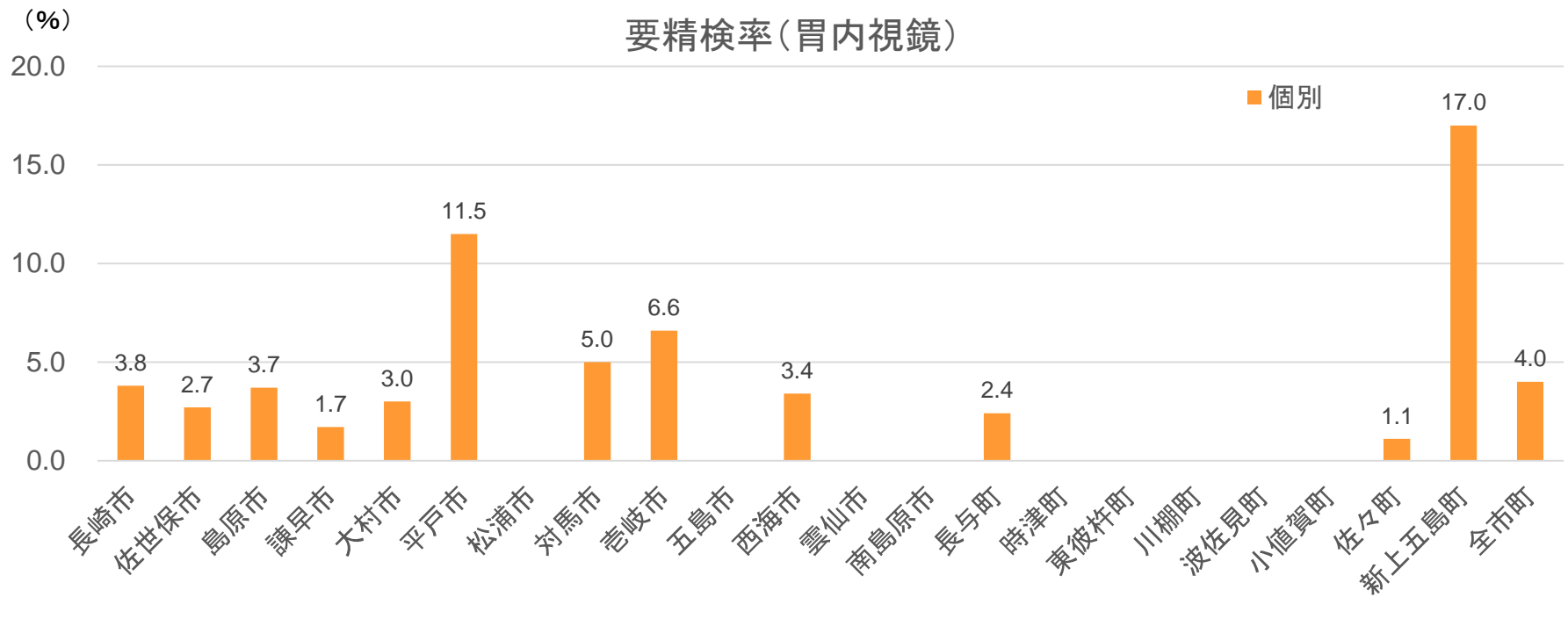
3)令和 1 年度要精検率

- ・要精検者数／検診受診者数
- ・目的:精密検査の対象者が適切に選ばれているか
- ・目標値:設定なし
- ・許容値:11.0%以下

- 高い場合
- ・考えられる原因
撮影や読影の精度管理に問題の可能性がある。
有症状者が、がん検診を受診していないか。



要精検率(胃内視鏡)

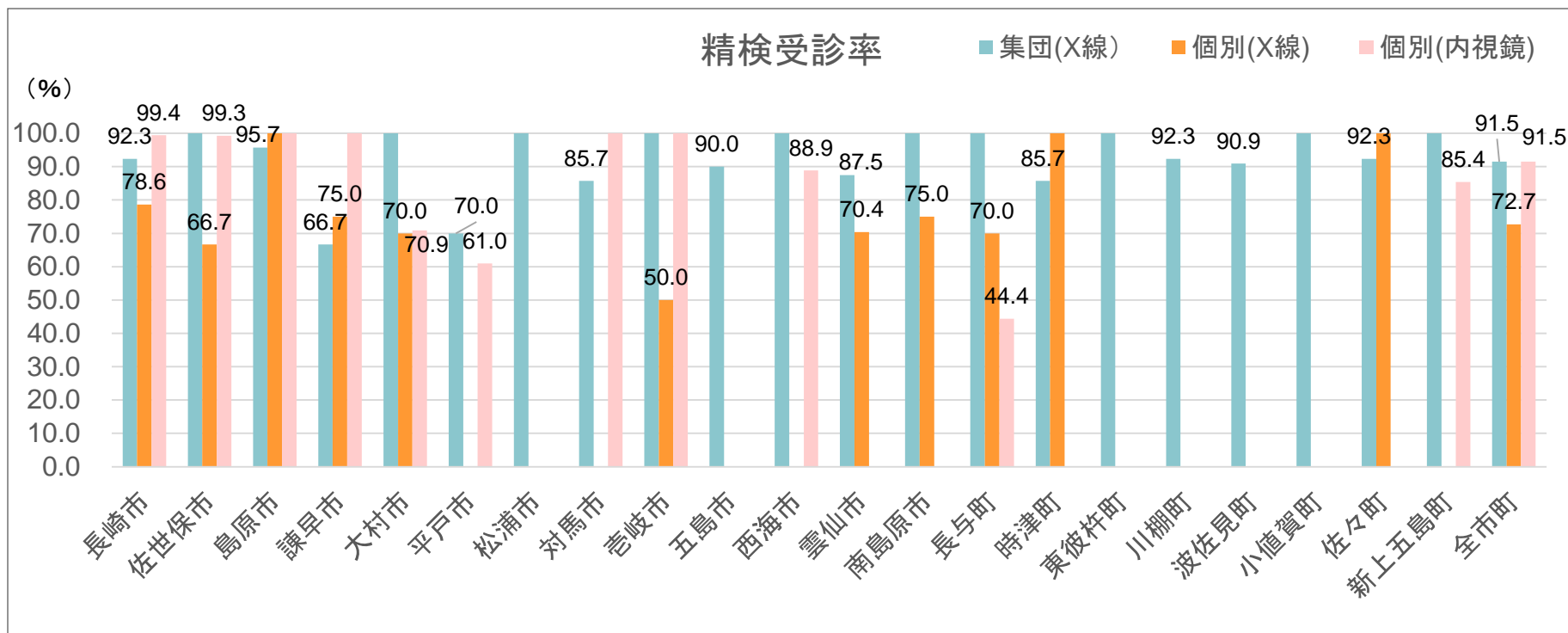


4)令和 1 年度精検受診率

- ・精検受診者数／要精検者数
- ・目的：要精検者が精密検査を受診したか
- ・高いほど良い。(精検受診率が100%近くなければ、発見率を正しく評価できない)
- ・目標値：90%以上
- ・許容値：70%以上

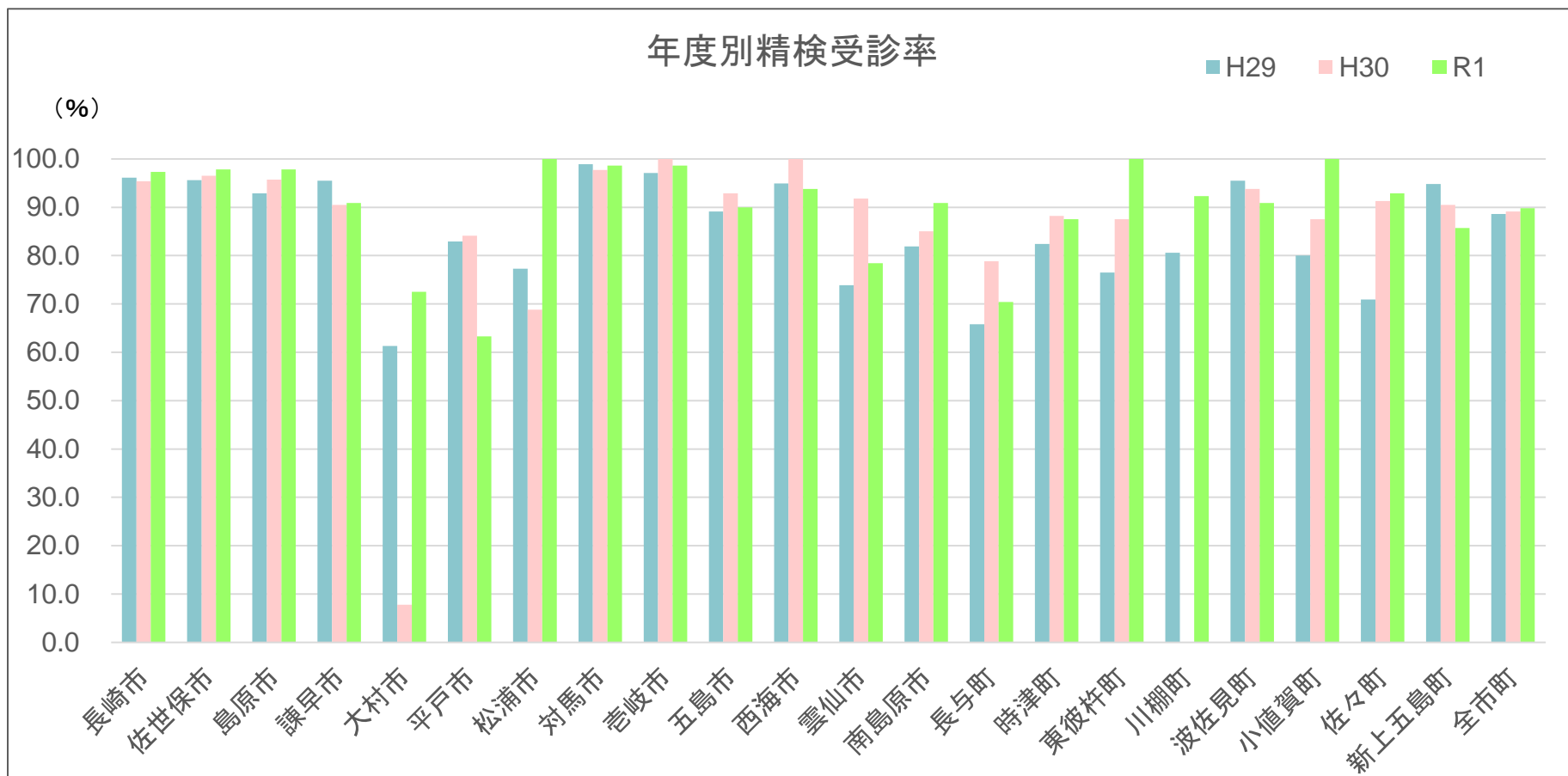
- 低い場合
- ・考えられる原因
 - 精検の受診勧奨が不十分。
 - 精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。

令和1年度は、目標値を満たしている市町も多く、県全体としては、集団(X線)と個別(内視鏡)が目標値を満たしていた。



5) 年度別精検受診率

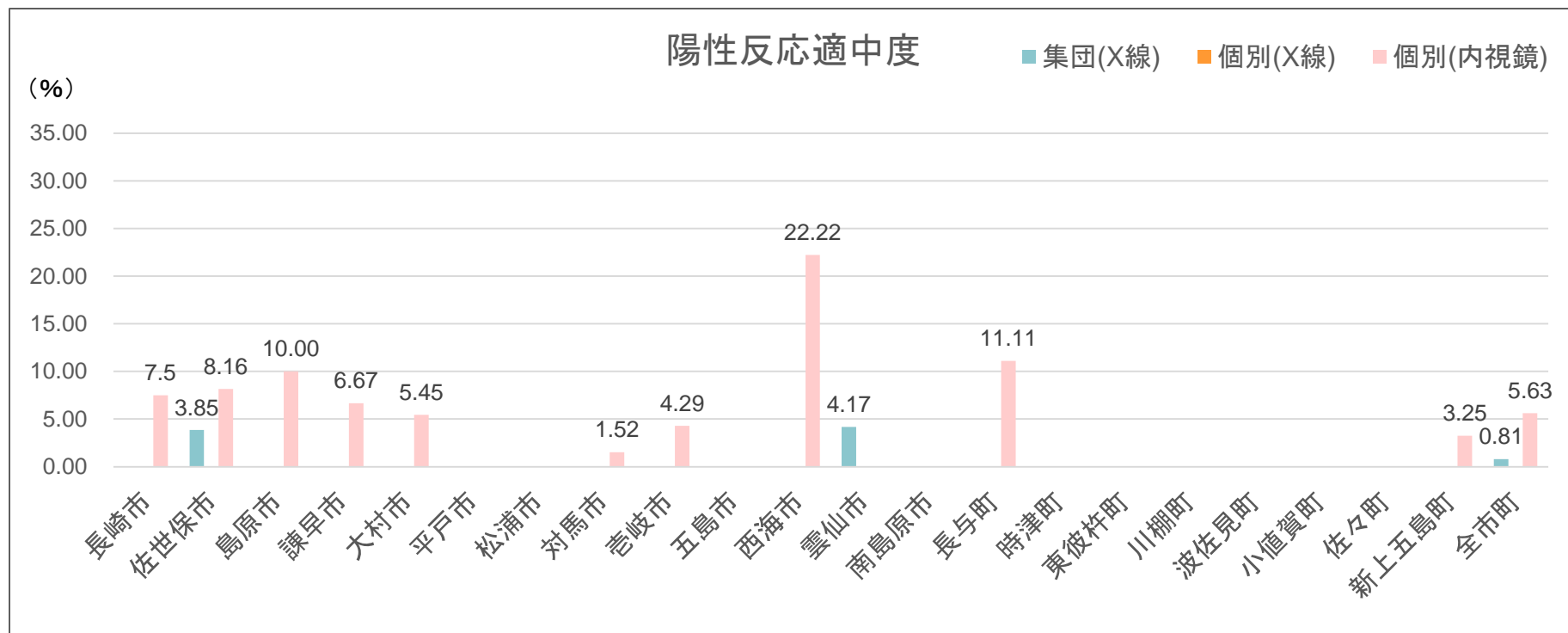
●3年連続90%以上の市町:長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・対馬市・壱岐市・西海市・波佐見町
 ○R1年度100%の市町:松浦市・東彼杵町・小値賀町



6)令和 1年度陽性反応適中度

- ・がんであった方の数／要精検者数
- ・目的:検診で効率よくがんを発見されたかを測る
- ・目標値:設定なし
- ・許容値:1.0%以上

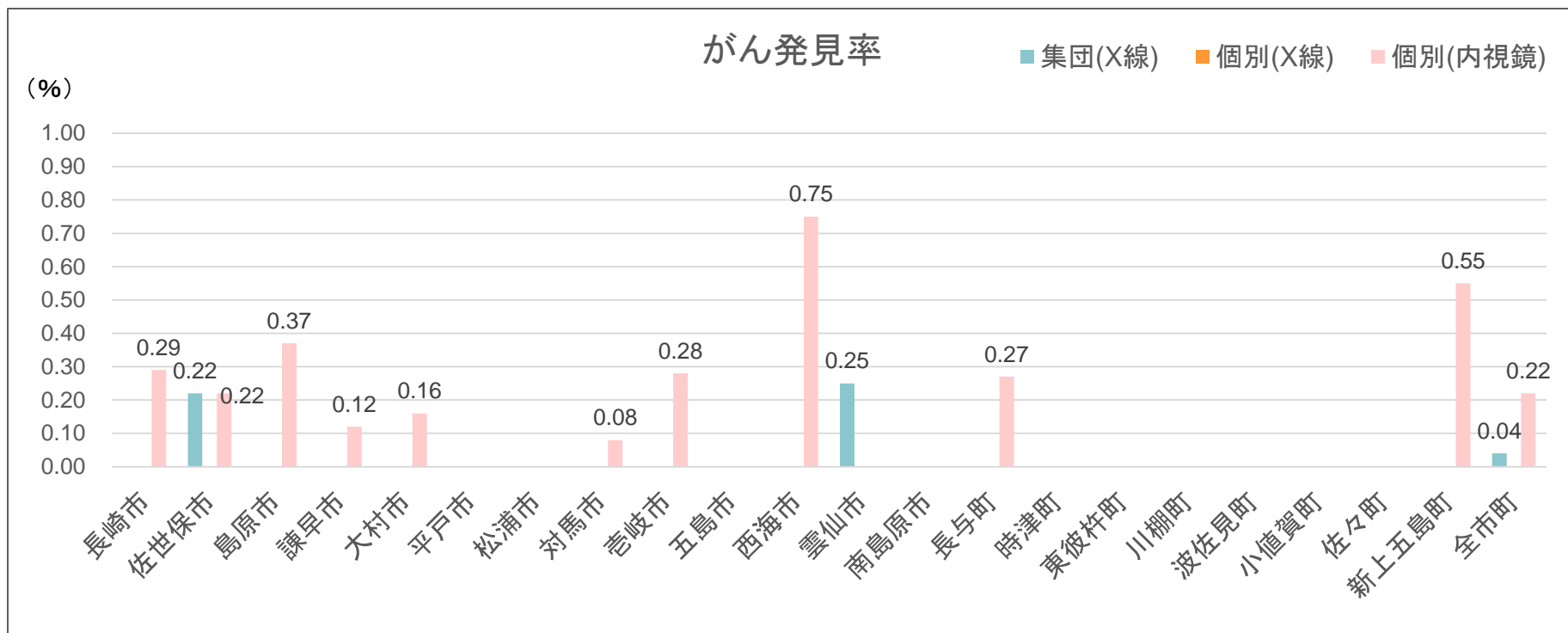
人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
X線の「陽性反応適中度」は、県全体でも許容値を満たしていない。



7) 令和1年度がん発見率

- ・がんであった方の数／検診受診者数
- ・目的: その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか
- ・目標値: 設定なし
- ・許容値: 0.11%以上

人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
X線の「がん発見率」は、県全体でも許容値を満たしていない。



8)令和 1年度 偶発症

▶ 長崎県では偶発症は報告されていません。

【検診時 もしくは 検診後】

区分	性別	胃部X線				内視鏡				合計			
		全国		長崎県		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	...	-	-	-	-	1	...	-	-
	合計	1	...	-	-	-	-	1	...	-	-
個別	男	8	...	-	-	3	11
	女	1	...	-	-	3	4
	合計	9	...	-	-	6	15
合計	男	8	...	-	-	3	11
	女	2	...	-	-	3	5
	合計	10	...	-	-	6	16

【精密検査時 もしくは 精密検査後】

区分	性別	胃部X線				内視鏡				合計			
		全国		長崎県		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	2	...	-	-	-	-	2	...	-	-
	女	2	...	-	-	-	-	2	...	-	-
	合計	4	...	-	-	-	-	4	...	-	-
個別	男	1	...	-	-	1	2
	女	-	-	1	1
	合計	1	...	-	-	2	3
合計	男	3	...	-	-	1	4
	女	2	...	-	-	1	3
	合計	5	...	-	-	2	7

6.まとめ

受診率、精検受診率について



受診率で目標値を満たしている市町はなかった。
精検受診率は、県全体としては許容値を満たしていた。さらに向上させるためには、精密検査の受診勧奨を行うことに加えて、精検医療機関からの情報を、市町が適切に把握できるよう体制を整えることが必要である。

要精検率について



各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがある。
県全体としては許容値を満たしていた。

がん発見率、陽性反応適中度について



人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
X線の「がん発見率」と「陽性反応適中度」は、県全体でも許容値を満たしていない。